

## 令和6年度 教育支援コーディネーター及びスクールソーシャルワーカーの 活動状況報告について

教育支援コーディネーター（CO）及びスクールソーシャルワーカー（SSW）への相談の主な主訴は、不登校・登校しぶり、特別な支援を要する児童・生徒に関する問題、家庭環境の問題等である。教員経験者の教育支援コーディネーター6人と社会福祉士や精神保健福祉士の資格を有するスクールソーシャルワーカー9人（うちチーフスクールソーシャルワーカー1人）は、主に学校や関係機関との連携を図る業務を行っている。令和6年度から、各中学校を拠点にスクールソーシャルワーカーを配置し、小学校にも週1日配置できるようにすることで、問題を抱える児童・生徒やその保護者に対する支援を拡充した。

### 1 CO主訴別実数（集計期間：4月から3月まで）

主訴内容	件数				令和5年度 (CO)	
	小学生	中学生	その他	合計		
学 校	不登校・登校しぶり	56	46	3	105	109
	教職員との関係の問題	2	1	0	3	2
	進路・転校	4	4	0	8	13
	学校選択	0	1	0	1	1
	いじめ	2	0	0	2	1
	学習に関する問題	11	0	0	11	6
	非行（万引き・恐喝等）	0	0	0	0	0
	学校の対応について	6	1	0	7	11
	小 計	81	53	3	137	143
障 害	発達の問題	25	7	2	34	26
	知的な問題	2	0	0	2	2
	身体の問題	0	0	0	0	0
	その他の障害・疾患	0	1	0	1	4
	小 計	27	8	2	37	32
家 庭 環 境	親の養育不安	21	5	1	27	21
	虐待・虐待の疑い	0	0	0	0	0
	家庭内暴力（DVを含む）	1	0	0	1	0
	養育困難	3	0	0	3	1
	経済的な困難	0	0	0	0	0
	小 計	25	5	1	31	22
合 計	133	66	6	205	197	

### 4 SSW主訴別実数（集計期間：4月から3月まで）

主訴内容	件数			
	小学生	中学生	その他	合計
不登校	70	93	3	166
いじめ・暴力行為・非行等の問題行動	16	2	1	19
友人・教職員等との関係の問題	5	2	0	7
児童虐待	3	4	0	7
性的な被害	0	2	0	2
貧困の問題	0	0	0	0
ヤングケアラー	0	3	0	3
家庭環境の問題	55	26	6	87
心身の健康・保健に関する問題	9	7	0	16
発達障害等に関する問題	45	9	1	55
性的マイノリティ	0	0	0	0
その他	0	2	1	3
合 計	203	150	12	365

### 2 CO相談者（対象は、1主訴別実数）

相談者	件数
保護者	125
本人	2
学校	21
その他	57
合計	205

※その他には終結したケース（54件）を含む。

### 3 COコーディネート先件数

（対象は、1主訴別実数）

関係機関名	件数
教育相談所	2
適応指導教室「太陽の子」	25
病院・クリニック	11
学びの多様化学校分教室「はしうち教室」	3
訪問型支援「みらい」	29
すこやか	3
学務課	1
SSW	1
SC	1
学校	4
通級指導教室	8
支援級	1
その他	1
合計	90

### 5 SSW相談者（対象は、4主訴別実数）

相談者	件数
保護者	146
本人	73
学校	134
その他	12
合計	365

#### 【主な特徴】

○COの主訴内容（実数）は、不登校・登校しぶりが全体の約51%と最も多く、次に発達の問題、親の養育不安の順に多くなっている。  
 ○COの主なコーディネート先は、訪問型支援「みらい」、適応指導教室「太陽の子」、病院・クリニックが多い。  
 ○SSWの主訴内容（実数）、不登校が全体の約45%と最も多く、次に家庭環境の問題、発達障害等に関する問題の順に多くなっている。  
 ○相談者は、CO、SSW共に保護者が最も多くなっている。